

沼高専音頭

作詞 市川良輔
作曲 高橋清

Moderato

ふじを あおいで ぐんとける むねの
ゆーめい の つかさ だて じやない
わかいいのちに いつとせがーけて
あすの にほんを あすの にほんを おこすのさ
こうぎょう はんた そうはんた ちゅうけん はんた
にっぽんの おいら ぬまの こーせん せい

沼高専音頭

一、富士を仰いでぐんとはる胸の
夢のでつかさ伊達じゃない
若い生命に五つ年かけて(ソレ)
明日の日本を

明日の日本を興すのさ

※工業なんだそうなんだ

中堅なんだ日本の(ヨイサ)

俺等沼津の高専生

二、浜は千本どんと打つ波の

男度胸と意地のよさ

胸にしっかりと技術をこめて(ソレ)

心だてなら

心だてなら花と咲く

※くり返し

三、丘の小林白雲たかく

塔が見えるよあの塔の

ひびく電波と鋼鉄の意気で(ソレ)

今日も行こうぜ

今日も行こうぜ肩組んで

※くり返し

四、ペンを研ごうぜ書物開こうぜ

若い五体を磨こうぜ

熱だノ知性だノ科学だノ真だ(ソレ)

今にかがやく

今にかがやく技術者だ

※くり返し